

君津市社会教育施設の再整備基本計画（素案）に係るまちづくり意見 公募手続の実施結果及び最終案について

教育委員会

平成31年1月4日から平成31年2月4日まで意見募集を行ったところ、以下のとおり意見がありました。

これらの意見と、8地区における説明会、社会教育委員会議等における意見などをもとに素案の精査を行い、「君津市社会教育施設の再整備基本計画」（最終案）を作成しました。

1 意見の件数

意見数 69件（提出者数 23人）

2 提出方法

書面の提出	27件（9人）	郵送	0件（0人）
Fax	0件（0人）	電子メール	42件（14人）

3 意見の概要及び市の考え方

市の対応区分

対応区分		意見の件数
A	意見をもとに、施策案を修正したもの	5件
B	意見の考え方が施策案に含まれていたもの	38件
C	意見を施策案に反映しないもの	19件
D	その他、施策案に直接関係ないもの等	7件

<全体的な点について>

	意見の概要	対応区分	市の考え方
1	これからの時代は市民の力を必要とする時代。市民と行政の協働のためにも君津市の将来にとって人づくりは本腰を入れて取り組むべき時代である。	B	本計画は「まちづくりは人づくり」の理念に沿ったコンセプトとしております。効果的な再整備とソフト展開の工夫により、社会教育施設が、多くの人の学びと活動を支えることが出来るよう努めてまいります。
2	法的に社会教育施設は学校と同じ教育の専門施設であり、地域を	A	社会教育施設の意義と、これまでの本市の社会教育施設の蓄積を

	良くする人材を育てる施設。施設の貸出しだけではなく、学習事業を実施する施設である。その意味で、一般の公共施設との違いを認識し、進めてほしい。		大切にしながら、施設の再整備、ソフト面の工夫などを進めてまいります。なお、社会教育施設が教育施設であることがより明確になるよう表記を見直します。
3	公民館、図書館、資料館の連携で、より魅力的、効率的な事業展開ができる。学校施設を使うことで、若い人が参加しやすい新たな分野も期待できる。若い人と地域の大人のつながりを作る社会教育に期待したい。公民館の蓄積した資料を活かし、学びを広げてほしい。人口減少対策として、今住んでいる人たちが幸せであるよう、社会教育を活かしてほしい。	B	社会教育施設のこれまでの蓄積を大切にしながら、さらなる連携と新たな交流を活かし、多くの人に役立つ、より開かれた事業展開を行ってまいります。
4	コンセプトがよい。地域活性化ステーションとして学校の活用は有意義。人口減少の時代、地域の限られたリソースを集約する「コンパクトシティ」を図り、交通網やまちづくりデザインとあわせた活用が必要。施設の存続ありきとならないよう、総合的なまちづくりの視点で進めてほしい。	B	校舎転用と施設の複合化は、既存施設の有効活用と新たな交流を生み出す点で効果的であると考えます。
5	まちづくりは人づくりというコンセプトのもとに、社会教育を重要視されていることに大変安心。公民館の8地域への配置継続・市直営での運営は、社会教育を広めていくために大切なことである。	B	地域拠点として、公民館8館の配置の継続と、教育の充実、地域活力の向上に資する事業実施における市の直営による根幹業務の展開が重要であると考えます。
6	基本計画のスケジュールのイメージを知ることができた。多くの方に広めてほしい。	C	本計画素案については、ホームページでのお知らせ、パブリックコメント、8会場における説明会を行いました。今後も市民のみなさまにご理解いただけるよう努めてまいります。
7	時宜を得た計画。特にサブタイトル「人・地域・きみつが輝く、地域活性化ステーションをめざして」は目標が明確であり、「ステ	B	社会教育施設を、これからの君津市をいきいきとさせる原動力を生み出す場となるよう、施設の再整備と事業展開の工夫を進めて

	ーション」の説明も説得力があるものと思う。		まいます。
8	君津の公民館は、新旧住民の交流と新しい文化創造をめざして活動し、一人一人の学習をもとに、市民が自ら生活文化活動にかかわることで地域づくりが進む循環があった。この働きを発展させてほしい。社会教育施設の機能を充実、連携させ君津市全体の「まちづくり」に寄与しようとする姿が、よく表現されている。	B	公民館、図書館、資料館のこれまでの蓄積を大切にしながら、施設の機能と特徴を活かし、さらなる連携を深めることで市民の学習活動や地域活動などに、さらに役立つ施設となるよう努めてまいます。
9	施設は古くても、安全で使いやすければ、色々な施設の集合施設で良いと思う。色々な組織の有機的な組合せで思わぬ効果が現れる。	B	新たな交流などが生まれる可能性があり、地域の活性化に資する複合化に積極的に対応してまいます。
10	交通機関が不十分な方、ハンディキャップを有する方など、すべての方々が平等に、自由に活用できる社会教育施設に再整備してほしい。	A	公民館から地域に出向いて行う事業や、中央図書館から離れた地域での図書館サービスの充実などを工夫し、施設に来ることが困難な方にも開かれた事業展開を行ってまいます。また、ハンディキャップのある方などにも使いやすい施設の再整備となることわかる表記といたします。なお、交通アクセスにつきましては、今後とも利便性向上に努めてまいます。
11	全庁横断的で進めている内容と思えない。君津の新しい姿を描く重要な計画として、防災、高齢者福祉、ボランティアの拠点等、沢山の活用方法があるように思うので、専門家の意見等を聴取し、また全庁体制で慎重に検討し、悔いのない社会教育施設にしたい。	A	社会教育施設の再整備について、複合化など全庁で協議を進めております。老朽化が進む公民館は速やかな再整備が必要なため、計画期間をおおむね7年としておりますが、社会や教育を取り巻く状況の変化等をふまえた見直しも視野に入れております。社会教育施設以外の施設・機能なども積極的に視野に入れ、複合化等を効果的に進めることがより明確になる表記といたします。

12	今後の設計に勘案すべきは利用人数もさることながら、各部屋の稼働率であると思う。	A	本計画は、マスタープランとして、個々の稼働率等はお示ししておりませんが、各施設の具体的な再整備の検討にあたっては、施設の規模・部屋数、設備等の吟味は重要であると考えております。適切な施設規模等の吟味を行うことがわかりやすくなる表記といたします。
13	校舎転用について、せっかくの設備なので活用できる場としてほしい。	B	子どもたちの教育を支えてきた校舎跡施設は、社会教育施設としても機能を十分に活かすことができ、経済性にも優れた効果的な方法として有効であると考えております。
14	改築や新たなリニューアル方法をじっくり考え、社会教育施設の特徴、本来の役割、蓄積を大事にし、各種制度を有効に利用できるよう周到に準備していただきたい。	B	老朽化が進む公民館は速やかな再整備が必要なため、計画期間をおおむね7年としておりますが、社会や教育を取り巻く状況の変化等をふまえた見直しも視野に入れております。本市の社会教育施設のこれまでの蓄積を大切に、施設の老朽化などの状況に鑑み、できるだけ速やかな再整備をめざしてまいります。
15	社会教育施設の運営管理は、市の直営を基本に継続してほしい。	B	社会教育施設の根幹業務については市の直接の運営を行うことを基本とし、業務内容に応じた効果的な運営を行ってまいります。
16	根幹となる業務は市の直接の運営ということは、安定した環境で安心して学ぶことができる。	B	社会教育施設の根幹業務について、市の直接の運営を行っていくことで、教育の向上と地域の活性化を両立させてまいります。
17	社会教育施設の根幹業務の直営という基本姿勢に賛成。業務内容に応じ委託等の効果的な運営を行うとあるが、指定管理者制度を導入し、管理、サービス内容が低下した事例を聞くので、そうならないよう選定は工夫してほしい。	B	現在も業務内容に応じ、業務の部分的な委託などを行っておりますが、今後も効果的な管理運営を行ってまいります。

18	今後の管理運営について、シンプルでよく理解できた。	B	引き続き効果的な管理運営を行ってまいります。
19	計画についてはわかる。ハード面は順次やっていただき、職員を増やす等のソフト面についても計画してほしい。	C	本計画は、具体的な職員の数等をお示しするものではありませんが、社会教育施設における事業展開などソフト面の工夫に努めてまいります。
20	人件費の節約は課題ではあると思いますが、人を育てるのはやはり人。人件費は必要なだけ確保していただきたいと思う。	D	貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。
21	社会教育施設の根幹業務は市の直営を継続との考えに賛成。職員の資質の向上と専門職員の充実を継続し、各施設の役割を發揮することが肝要。人的資源である職員が要だと思う。	B	社会教育施設の根幹業務を市の直営で行うことで、地域の状況に沿った事業展開を行ってまいります。教育施設の特性を活かし、地域の活力向上に役立つ施設となるよう、職員の資質向上に努めてまいります。
22	施設、費用、要員は再整備前後でどのように変わるのか。それは妥当であるのか。	C	本計画は人員についての計画をお示しするものではございませんが、施設、費用等が適切なものとなる再整備を行ってまいります。
23	公民館等施設の有料化問題との関連はどのようになっているか。	D	本計画は、社会教育施設の有料化の計画をお示しするものではございませんが、公共施設の料金の適正化については、全庁的な検討を行ってまいります。
24	前向きな計画で、実現したら魅力的なまちになる。説明会や意見公募への市民参加が少ないという課題があるが、行政対市民だけでなく、市民同士で気軽に意見交換できる場を作ってほしい。市の「指針」や「計画」などは、ホームページだけでなく、図書館で貸出できるようにしてほしい。	C	計画の進行にあたっては、幅広い視野からのご意見を大切にしたいと考えております。いただいたご意見を参考にさせていただきます。なお、図書館において、市の計画などの資料や情報を適切に提供してまいります。
25	受益者負担として貸出料金を取るところが増えてきているのが実情のようだが、図書館や公民館での学びは、周囲の方にも良い広	D	本計画は、社会教育施設の有料化の計画をお示しするものではございませんが、公共施設の料金の適正化については、全庁的な検討

<p>がりを見せるものと思う。今後共に無料の原則でお願いしたい。</p>	<p>を行ってまいります。</p>
--------------------------------------	-------------------

<主に公民館について>

	意見の概要	対応区分	市の考え方
26	<p>公民館には避難所の側面もあるが、周南地区は、公共施設がすべて宮下側に集中し、橋が決壊・欠損したら避難所まで行けないリスクがある。周南公民館は、常代側への建て替え等も含め検討してほしい。</p>	C	<p>本計画は周南公民館の具体的な立地等をお示しするものではありませんが、今後の実施プランにおいて、多方面から検討を進めてまいります。</p>
27	<p>施設利用者の視点が乏しい。君津市は面積が広く、少子高齢化が進む中、それぞれの公民館に要求される内容の量、質も変化がある。各公民館に要求されるサービスの内容の量、質を明確にし、再整備のデザインをお願いしたい。</p>	B	<p>本計画は、社会教育施設の再整備のマスタープランのため、各施設の具体的な再整備の内容をお示しするものではありませんが、本計画をもとに、今後の実施プランや設計において、地域の状況や利用者の視点などを的確に把握し、再整備の内容を具体化させてまいります。</p>
28	<p>周南公民館は雨漏り等があった。周南公民館が第2期プランでは、時間がかかりすぎではないか。</p>	C	<p>再整備の方法、立地などについてさらなる検討が必要な施設を第2期プランとしております。再整備までの間、日常的なメンテナンスに努めてまいります。</p>
29	<p>公民館を老朽化・耐震性だけで評価するのではなく、建築のプロ、職員や利用者の意見を交え、定期的に施設のチェック・メンテナンスする仕組み作りが必要と思う。</p>	B	<p>本計画をもとに、今後の長寿命化等に関する個別計画を策定し、社会教育施設の大規模修繕や改修を進めてまいります。メンテナンスについてのご提言は、今後の参考とさせていただきます。</p>
30	<p>公民館の8地域への配置継続・校舎跡施設の転用は賛成。今後も公民館が地域コミュニティーの核として機能していけるよう、住民として盛り上げたい。清和公民館を秋元小学校校舎転用案が示さ</p>	B	<p>本計画はマスタープランのため、清和公民館の具体的な移転先をお示しするものではありませんが、社会教育施設の再整備についての具体的な検討にあたっては、地域のみなさまのご意見やアイ</p>

	れるなら、平成 29・30 年度にまちづくり推進課が行った清和地区公共施設ワークショップの活動が反映されることを強く望む。		ディアなどを大切にしながら進めてまいります。
31	身近な拠点として 8 公民館機能を置くことと、校舎転用について賛成。市民の生涯学習や地域活動を支えてほしい。	B	地域の拠点として地域活力の向上に役立つ公民館の効果的な再整備を進めてまいります。
32	広域な面積があり、地域性も異なることから 8 地域への公民館配置に賛成。ハード、ソフト両面の質を下げないようにしてほしい。	B	施設のみならず、ソフト面での展開の工夫を図り、地域活力の向上に役立つ公民館の再整備を進めてまいります。
33	高齢化、広い市域をふまえると、地域に飛び出す公民館活動は素晴らしい。長期的視野に立った分館・支館体制の再構築の検討も考えてほしい。分館への専門職員の配置も大切と考える。	C	分館への専門職員の配置は計画しておりませんが、今後も引き続き、地域の状況に沿った事業展開が重要であると考えます。地域と公民館の連携のあり方などを工夫してまいります。
34	広い君津市に 8 地域への公民館配置は重要。市街地と山間部との違いがあり、それぞれのまちづくりの大切な拠点となる。「地域に飛び出す事業」は自力での移動が難しい人など、誰もが学ぶ機会が持てる。	B	公民館が日常生活圏における地域の拠点として機能できることが重要であると考えております。きめ細かく地域の状況に沿ったより開かれた事業展開に努めてまいります。
35	校舎跡施設を転用する方法を優先的に選択するとあるが、さらに、複合化で新たな交流と場をつくる視点を重視して、公民館がまちの活性化につながる展開を充実させてほしい。	B	校舎転用と施設の複合化は、新たな交流を生むものとして、効果的であると考えます。地域の活力向上に向けた再整備に努めてまいります。
36	学校再編に伴い学校がなくなる地域では公民館の役割が重要である。個別計画では特別な配慮を願う。プレイルームが地域の協力を得て子どもたちの成長に欠かせない場となっている。子育て世代の定住を促すために、子育てをする親目線で、場所やあり方の確保を進めてほしい。	B	学校と地域が新たな時代を迎えるなかで、社会教育施設が地域の活力向上に役立つことができるよう、再整備を進めてまいります。また、施設の場所などについて、さまざまな視野で検討をしてまいります。

37	公民館は、地域・市民のコミュニティーとして中心的な存在であるので、早急に再整備してほしい。	B	老朽化が進む公民館が複数あるため、すべてを一斉に再整備することは難しい面がありますが、できるかぎり速やかに再整備が進められるよう努めてまいります。
38	学校統合により、人口の偏りがますます増えるなかで、利用の少ない公民館の再整備にかかる予算を、違うことに利用した方がよい。	C	今後の地域づくりの拠点として、8公民館の配置は重要であると考えます。公民館の再整備にあたっては、利用状況などから施設の規模などを精査し、効率的に進めてまいります。
39	公民館の8地域配置の継続と施設の整備方向について基本的に賛成。ただし清和公民館は、建築年度が全く違う大集会所もあり、留意する必要があると思う。	B	今後も地域の拠点として、8地域への公民館配置が重要であると考えます。清和公民館の多目的ホールにつきましては、いただいたご意見も参考に検討してまいります。
40	公民館事業では、ぜひ参加してほしい企画には集客方法の工夫が必要と思う。	A	本計画をもとにソフト面の展開についてさまざまな工夫を図ってまいります。社会教育施設全体で、より幅広い方に活用していただくよう、周知方法も含めた工夫を行うことについて、分かりやすい表記といたします。
41	「市民と行政の協働」の基盤づくりの中核が公民館。解決には市民の力が多く必要。市民の力・やる気を育てる学習環境の整備で、行政と市民が一緒になった地域づくりが可能となる。公民館活動を支援してほしい。	B	公民館が市民のみなさんの身近な学習、地域活動の拠点としての役割を果たしていくために、本計画をもとに再整備を進めてまいります。
42	「人と地域をつなぐステーション」を実現する公民館の具体的な活動等が明確化されていない。校舎跡施設の活用には賛成だが、「人と地域をつなぐステーション」の内容が明確で、人々の共感を得るものである必要がある。施設をどう活用するかというソフト面も考えて進めてほしい。	B	本計画はマスタープランであるため、個々の施設の具体的な事業展開等をお示しするものではありませんが、すべての社会教育施設で、コンセプト実現のためのソフト展開の工夫などを図ってまいります。

43	地区に一人暮らしの高齢者が増えているが、多くの方が公民館で交流を楽しんでいる。住民のネットワークをつくる公民館の役割に感謝している。素案の「自助、公助、共助のバランスのよい地域づくり」や「人生100年時代における一人一人が充実した人生を送る環境づくり」という考えに基づき充実を図ってほしい。	B	現在、各公民館で地域の状況に沿った事業展開に努めており、今後も、社会や地域の変化を的確にとらえた事業、また、より多くの人に関われ充実した事業の展開に努めてまいります。
44	地域ごとに伝統や人口等の違いがある。人口の多い地域の公民館は、サークル等の直接利用者の多さに甘んじることなく、自治会や福祉等諸地域団体と連携を深め、地域全体の課題に取り組み、地域活性化に貢献することが求められる。その点も「これからの社会教育施設の役割」に簡潔に示されていた。	B	地域コミュニティーの発展は、どの地域においても重要となるテーマであると考えます。市内の各公民館で、地域団体との交流や連携などをこれまで以上に大切にしながら、地域活性化に向けた取組みに努めてまいります。
45	公民館を貸館として使うだけでなく、市民自身がまちづくりの一員という意識を持つことも大切。住民自治の力を向上する場として機能するためには職員の働きかけが必要。必要な職員の配置をお願いしたい。	B	社会教育施設の根幹業務を市の直営で行うことで、地域の状況に沿い、地域の向上に役立つ事業を展開してまいります。
46	専門職員が窓口で、館にすることが市民にとって重要なことである。計画を実施していくうえで職員数の確保が重要である。新規採用も含めて考えてほしい。	C	本計画は職員の数、採用等をお示しするものではありませんが、社会教育施設の根幹業務を市の直営で行うことで、地域の状況に沿った事業を展開してまいります。

<主に図書館、資料館について>

	意見の概要	対応区分	市の考え方
47	図書館サービスについて、今後分室等さらに充実する方向で、有効な取組みであると思う。駐車場の	B	本計画をもとにさらなるサービスの充実をめざしてまいります。

	確保等、行きやすい整備は利用者に歓迎されるので進めてほしい。		
48	袖ヶ浦市の図書館充実度と比べ、君津市は更に充実してほしい。サービス網の再構築に期待する。	B	本計画をもとにさらなるサービスの充実をめざしてまいります。
49	君津の図書館は、日頃より利用者の状況をよく見ており、子どもを支える人へのサービスにつながっている。窓口業務は利用者も多く接し市民ニーズを肌で感じられる業務であり、委託はなじまない。	C	本計画は、委託の具体的業務内容をお示しするものではありませんが、業務内容に応じ、効果的な運営を行ってまいります。
50	分室でも司書によるレファレンスサービスを行うこと、各施設に新鮮な資料、充実した資料収集の提供が明記されており、評価する。そのための資料費と人件費を確実に確保すべき。	C	本計画は、資料費や人件費についてお示しするものではありませんが、図書館分室につきましては、計画に基づき、効果的な運営を行ってまいります。
51	社会教育施設の根幹業務は市の直営継続という点を評価。図書館の窓口業務は市の直営で行うべき。計画的な正規・専門・専任の司書の採用と資料費を確保してほしい。	C	本計画は具体的な委託業務の内容、職員の採用・資料費等をお示しするものではありませんが、業務内容に応じた効果的な運営を行ってまいります。
52	今後は分室でもレファレンスサービスを行うということなので、専門職の新規採用も含めた職員の充実をお願いしたい。公民館、図書館の館長は、重大な責任を担う仕事なので専任でお願いしたい。	C	本計画は職員の数、採用、兼務・専任等に関する内容をお示しするものではありませんが、充実したサービスの展開と職員の資質向上に努めてまいります。
53	学校図書館は学校教育課との連携が不可欠な場所で、無論直営と思う。利用する児童生徒、職員のために、司書補助員の継続的な研修と勤務時間数の増加をお願いしたい。	C	本計画は学校教育における司書補助員についての計画をお示しするものではありませんが、本計画をもとに図書館によるさらなる学校支援の向上を図ってまいります。
54	君津市民に限定されているリクエストサービスを、市外住民も利用できるようにしてほしい。ま	C	本市の図書館は市外の方への貸出し等も行っておりますが、市民サービス優先の観点から、市内在

	た、建て替える時には中央図書館の書棚の通路を車いすでも行き来しやすくしてほしい。		住・在勤・在学の方に限らせていただいているサービスもありますことをご理解願います。また、通路は、車椅子のスペースも確保しておりますが、混雑時にご不便をおかけする場合もあり、今後の参考にさせていただきます。
55	図書館が、3ゾーンで展開する点は、学校統合等を考えると頷ける。だからこそ、学校サービス等の支援が継続できる中央図書館の職員の充実等が求められると思う。	B	本計画は職員の数、採用に関する内容をお示しするものではありませんが、職員の資質向上、事業展開の工夫などに努めてまいります。
56	空き校舎・公民館施設などに展示コーナーを作り観光を含めた地域のボランティアを育てて説明するシステム作りが良い。子どもたちへは、専門職の方が授業の中で説明する時間を設けた方が良い。	B	校舎跡施設等を有効に活用し、地域性を活かした展示に取り組んでまいります。また、学校と連携し、地域への愛着心を育む体験学習の機会など、学習支援の充実を図ってまいります。
57	市民文化ホールは、音楽、演劇、言葉など「時間を共有し、感動を得る」場であるが、絵画、彫刻、書、また文化財、動植物等を展示、体験できる「展示活動を中心とした多目的ホール」のような施設が必要と考える。ユニークで新たな魅力ある施設になると考える。	C	本計画では、博物館施設について、新たな施設建設をとまなわな方法での機能充実を基本的な考え方としており、今後、校舎跡施設等の活用など、経済性に優れた方法で、文化資源の有効活用を図ってまいります。
58	学校で、ふるさとに誇りを持ち、夢や希望を膨らませる児童の育成をめざし、地域の教育力、地域の良さを活かした実践に力を入れている。学校再編が進む中「ふるさと君津学習ステーション」としての博物館機能に示されている、学習支援の充実に力をいれてほしい。	B	社会教育施設と学校とが連携し、地域への愛着心を育む体験学習の機会を設けるなど、学習支援の充実を図ってまいります。
59	フィールドミュージアムについて、歴史関係でなくても、市内観光地をめぐる周遊バス等もよいと思う。	B	観光の要素も大切にしながら、多くの人を訪れて楽しめる魅力的な事業展開に努めてまいります。

60	久留里城址資料館は、わかりやすい説明で大変勉強になった。観光とは切り離した方がよいと思う。	C	「ふるさと君津」を総合的に学習できる博物館施設として、また、観光の要素も大切にしながら、より多くの来館者を呼び込む事業を工夫してまいります。
61	久留里城址資料館までの坂道が魅力なので、夏の冷却ミストなど何か手立てがほしい。	C	貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。
62	資料館の「観光をイメージした親しみやすい名称変更」も魅力的だが、何のための、何ができる施設かは、わかりやすく伝わる見直しをしてほしい。	B	これまで親しまれてきた実績や、地域の方のご意見も伺いながら、検討してまいります。
63	小学校では地域学習の授業があるが、「君津市史」などは内容が難しく、小学生にはわかりづらい。故郷を愛する心を深めるためにも、年齢にあった地域学習の資料があるとよい。	B	幼少期から、地域への愛着心を育むことができるよう、体験学習の機会を設けるなどの学習支援の充実を図ります。また、調べ学習のアドバイス、情報提供に努めてまいります。
64	図書館・資料館は、場所により利用者が少ないと思うので、工夫が必要である。	B	地域の状況に沿った資料配置や、市域の各地域に所在する文化資源を活用したフィールドミュージアムの展示など、地域の特色を活かした事業展開の工夫に努めてまいります。

< 関連施設・その他について >

	意見の概要	対応区分	市の考え方
65	都市災害の対応が行政の役割である。地域外との交流を進め、大災害時の避難場所を利用者に担保することで、校舎跡地等の利用が進むと考える。	D	貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。
66	文化のステーションとして、君津市民文化ホールがあるが、今回、社会教育施設として組み込まれていないのはなぜか。	C	平成28年度に策定した「君津市社会教育施設等の整備、運営方法等についての指針」では、君津市民文化ホールを含む社会教育に関連の深い施設について、今後の

			あり方の大きな方向性を示しましたが、本計画はその中から、公民館、資料館、図書館についてまとめたものです。文化ホールにつきましても、長寿命化等を進めてまいります。
67	個別計画を立てる際には正規非正規に関わらず各現場にいる職員の意見を、アンケート等も活用して、聞きながら作成することが大切と思う。	D	貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。
68	館長職に、退職した学校職員が従事しているが、勤務時刻が遅い、休日出勤が多い等、問題があるので、任せるのであれば、勤務形態を見直してほしい。	D	貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。
69	駅まで行く交通の便をよくしてほしい。	D	貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。

4 結果の公表

- (1) 公表場所：教育総務課、行政センター、公民館、コミュニティセンター、中央図書館、市のホームページ
- (2) 公表期間：平成31年4月1日から3か月間

5 地区説明会の概要

(1) 実施期日

平成31年1月 8日（上総地区）・ 9日（清和地区）・ 10日（周南地区）
11日（小糸地区）・ 15日（小櫃地区）・ 17日（君津地区）
18日（周西地区）・ 22日（八重原地区）

(2) 地区説明会の概要の意見及び地区説明会におけるアンケートの概要
<全体的な点について>

○コンセプト

- ・コンセプトに賛成。（多数）
- ・社会教育施設は住民の考えを作り、市民が力をつける場。君津市の将来像を作るために必要な施設であることを大切にしてほしい。
- ・文化的な君津市を発展させるもので安心した。本来の施設の目的からそれないよう、あわてないで進めてもらいたい。
- ・お年よりや子どもの受け皿としての役割を社会教育施設には果たしてほしい。大きさにこだわるのではなく、地域に密着した温かみのある行政が必要と思う。

- ・基本計画素案の内容はわかったが、文化ホールなどとの関連が見えづらい。
- ・これまでの社会教育施設が整備されてきた歴史と蓄積を大切にしてほしい。
- ・地域ごとの特性をいかしながら進めてほしい。
- ・市民の意識を把握しながら進めてほしい。

○複合化・校舎転用等

- ・複合化・校舎転用について賛成。(多数)
- ・地域で暮らす者にとって、食べる、着るなどは生活そのもの。「活性化ステーション」にコンビニや、農協、郵便局なども検討していただくとありがたい。
- ・防災、福祉、ボランティア拠点としての見地なども、全庁体制でしっかり検討してほしい。
- ・小櫃公民館は、防災拠点や、高速バス乗り場を造るといった大型化を考えてもよい。
- ・新しい公民館には子どもの居場所も考慮してほしい。

○運営

- ・社会教育施設の根幹業務は市の直営を継続してほしい。(多数)
- ・市の直接の運営という考えに安心した。
- ・社会教育施設がハコモノではなく教育の専門施設という点を大切にしてほしい。

○職員

- ・職員の充実を望む。(多数)
- ・館長は重要な役割なので、継続などを考えてほしい。
- ・市民自身がまちづくりの一員という意識を持つことが大切。住民自治力を向上する場として職員の働きかけが必要。

<公民館について>

- ・公民館の8館配置について重要・継続を望む。(多数)
- ・「地域に飛び出す事業」は自力での移動が難しい人など誰もが学ぶ機会が持てる。
- ・分館制度の見直しはやむを得ないが、公民館主催の分館事業継続を望む。
- ・公民館で重要なことは、住民の感動を生み出すこと。そこを大切にしてほしい。
- ・地域の人、地域外の人、障害のある人など、公民館に来ない人に、もっと来てもらえる工夫が必要。
- ・サークル活動が十分できるよう、今の面積を確保してほしい。
- ・高齢化が進む中、公民館を充実させられればいいが、あまり大きくすると維持なども大変である。あまり、大きな規模でなくても良いと思う。
- ・できれば分館も地域の発展という点で少しは残してほしい。
- ・平和の願いを込めた小糸公民館の壁画を大切にしてほしい。
- ・周南公民館は古いので、まずここからはじめてほしい。

<図書館・資料館について>

- ・市民協働を促すためにも、市民の学習に必要な地域資料、行政資料等の配置、活用の充実を望む。
- ・フィールドミュージアムの考え方に期待する。
- ・学校に蓄積されている地域の歴史や文化など、各地域文化、歴史を伝える施設があってほしい。
- ・小糸川、小櫃川流域の歴史を子どもたちに伝えていく博物館構想的な要素も必要。
- ・県と連携し久留里城址資料館周辺を整備すれば、観光、学びの場として活用できる。
- ・漁業資料館は無くしてもいいのではないか。
- ・博物館について、美術関係についても関心を高めてほしい。

<まちづくり・総合的な観点について>

- ・君津の東の玄関として小櫃地区の活性化の提言を大切にしてほしい。
- ・公民館利用者などから地域福祉のコーディネーター的な人が出てくると良い。「教育施設」という視点から、「まちづくり施設」という機能が広がることを期待。
- ・市役所周辺の地区と小櫃では、公共施設の利用の感覚的な違いがある。地域ごとの特性を活かしてほしい。
- ・お年寄りの交通移動手段などをあわせて考えてほしい。
- ・君津の魅力をアピールできるような点を考えてほしい。

<その他>

- ・現行の公民館の予約、施設、図書館の貸出し、情報インフラ等に関する事。
- ・校舎跡地の有効活用に関する事。
- ・公共交通、福祉施設、地域防災、コミュニティセンター等に関する事。
- ・文化ホール、生涯学習バスに関する事。
- ・説明会の開催日時等に関する事。

6 最終案について

(1) 修正の参考にした主な意見

ア 修正の参考にしたパブリックコメント・地区説明会での意見の主旨

- (ア) 社会教育施設は、教育の専門施設である理念を大切にしてほしい。
- (イ) ハンディキャップを有する方なども活用できる社会教育施設にしてほしい。
- (ウ) 防災、高齢者福祉、ボランティアの拠点等、全庁体制で慎重に検討し、悔いのない社会教育施設にしてほしい。
- (エ) 各部屋の稼働率などから適切な規模にしてほしい／施設は大きすぎないものでもよい。
- (オ) 公民館事業は集客方法の工夫が必要／地域内外の人、障害のある人など、公民館に来ない人に、もっと来てもらえる工夫が必要。

イ 修正の参考にした社会教育委員会議等における意見の主旨

校舎転用、移転などは理解できる。移転の場合、現在の機能を移転先でどのように発展させるかといった点や、今までの場所にあったことの意義などもよく考慮し、地域の状況に沿った方法を検討してほしい。

(2) 主な修正内容

修正前（素案）		修正後（最終案）	
P. 1	<p>本市の社会教育施設は、生活文化向上の場、まちづくり、人づくりの拠点として、市民の学習活動、文化振興、交流の促進、健やかな心身の育成などに、大きな役割を果たしてきました。</p>	P. 1	<p>社会教育施設は、市民が交流を深め、主体的に学習や地域活動を行うことを通じて暮らしと地域がよりよくなることをめざし、施設の提供や、時事の状況に沿った様々な調査、研究、各種事業などを行う教育施設です。</p> <p>本市の社会教育施設も、これまで、生活文化の向上、まちづくり、人づくりの拠点として、大きな役割を果たしてきました。</p>
P. 6	<p>○基本計画は平成31年度（2019年度）から2025年までのおおむね7年間を期間とし、 _____段階的な実施プランで再整備を行います。</p> <p>○第1期では、早期に校舎活用が可能となる清和地区において、校舎跡施設への_____清和公民館の移転を主とした再整備を行います。</p> <p>○校舎転用をはじめとする _____</p> <p>効率的な再整備方法の更なる検討を行い、第2期の期間内で、周南公民館、小糸公民館、小櫃公民館の再整備を実施します。</p>	P. 6	<p>○基本計画は2019年度（平成31年度）から2025年度（平成37年度）までのおおむね7年間を計画期間とし、段階的な実施プランで再整備を行います。なお、社会や教育を取り巻く状況の変化などを踏まえ、必要な見直し、修正などを行います。</p> <p>○第1期では、早期に校舎活用が可能となる清和地区において、校舎跡施設の有効活用による清和公民館の移転を主とした再整備を行います。</p> <p>○校舎転用、建て替えなどの方法の中から、地域の状況に沿った、効果的で効率的な再整備方法の更なる検討を行い、第2期の期間内で、周南公民館、小糸公民館、小櫃公民館の再整備を実施します。</p>
P. 7	<p>君津市の社会教育施設は、「指針」で掲げた事業展開の方向性をもとに、人、地域、君津を生き生きと輝かせる社会教育事業に取り組んでいます。</p>	P. 7	<p>君津市の社会教育施設は、「指針」で掲げた事業展開の方向性をもとに、人、地域、君津を生き生きと輝かせる社会教育事業に取り組んでいます。</p> <p>これまで以上に、社会や地域の状況</p>

			に沿い、より魅力的な事業とするための工夫、PRの工夫などに努め、より幅広く、多くの人の役に立つ事業を展開します。
P. 9	○再整備にあたっては、既存施設の活用や複合化など、効率的な方法、地域の新たな交流と活性化に結び付く方法を優先的に取り入れます。	P. 10	○再整備にあたっては、既存施設の活用や複合化など、効率的で、地域の新たな交流と活性化に結び付く方法を積極的に検討し、適切な施設規模等を吟味します。
P. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎跡施設を転用する方法を優先的に選択します。 ・転用が難しい場合、規模見直しや立地移転等を視野に、改築等を行います。 ・様々な施設との複合化を積極的に対応し、暮らしの向上や、公民館機能との相乗効果で、新たな交流と活力を拓げる場を創ります。 	P. 11	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎跡施設を転用する方法を積極的に検討します。 ・転用が難しい場合、立地移転も視野に、建て替え等を行います。 ・転用や建て替え等に際しては、適切な施設規模・設備等を吟味します。 ・社会教育以外の様々な施設、機能等も視野に、地域や暮らしの向上に役立つ効果的な複合化に積極的に対応し、公民館機能との相乗効果で、新たな交流と活力を広げる場を創ります。 ・施設の再整備に際しては、お年寄りや障害がある方など、どなたにも使いやすい施設をめざします。